

工業用水道事業へのコンセッション方式導入について



有明工水 上の原浄水場



八代工水 白島浄水場

令和5年6月28日（水）

熊本県企業局

工業用水道事業の概要

令和5年4月1日現在

	有明工業用水道	八代工業用水道	苓北工業用水道
所在市町村	玉名市	八代市	苓北町
給水区域	名石浜工業用地 長洲工業用地 荒尾産業団地	八代臨海工業用地	九州電力 苓北発電所 内田工業団地
水 源	菊池川（一級河川） 竜門ダム	球磨川（一級河川）	都呂々川（二級河川） 都呂々ダム
給水開始	昭和50年6月 （1975年6月）	昭和52年4月 （1977年4月）	平成5年8月 （1993年8月）
取水能力(m³/日)	36,374	29,462	7,742
給水能力(m³/日)	33,860	27,300	7,200
給水事業所数	13	24	2
契約水量(m³/日) （契約率）	14,767 （43.6%）	10,362 （38.0%）	7,060 （98.1%）

企業局施設配置図



※苓北工業用水道は、コンセッション事業対象外

導入検討

課題等

厳しい経営状況

- ・多額の更新投資資金の負担
- ・一般会計から多額の補助金・借入金
- ・未利用水を抱えている
- ・全国的に見て高い給水料金

施設の老朽化、維持管理

- ・計画的な設備更新が必要
- ・適切な維持管理が必要
- ・安定給水の確保

職員の確保、技術継承

- ・経験豊富な技術系職員の減少
(運開当初から運転保守業務は外部委託)
- ・技術継承

- 
- ・これらの課題を解決し、低廉かつ安定的な工業用水を供給するため、事業の運営基盤強化を図ることが必要
 - ・公共施設等運営権方式(コンセッション方式)は、その方策の一つとして期待

コンセッション事業スキーム

- 工業用水道事業の公共性や、関係団体（共同管理者、ダム・堰管理者）との関係等を考慮し、**熊本県企業局が引き続き工業用水道事業法の事業者**となり、料金の設定や管路の更新等を行う。
- **運営権者は現行の運転保守業務委託の範囲を拡大**し、次の業務を行う。
 - ・維持管理・運営業務
 - ・施設更新業務
 - ・総括マネジメント業務
- **未利用水**についても、民間のノウハウ・営業努力を活用した需要開拓を行う。

選定事業者と運営権設定

選定事業者

ウォーターサークルくまもと株式会社

設 立：令和2年9月11日

所在地：熊本県荒尾市

（出資構成企業）

- ・メタウォーター株式会社【代表企業】
- ・株式会社熊本県弘済会
- ・西日本電信電話株式会社
- ・株式会社ウエスコ
- ・メタウォーターサービス株式会社

令和2年9月定例会の議決を経て、選定事業者に対して運営権（20年間）を設定し、実施契約を締結

導入効果

■コスト削減効果

VFM= **15.2**億円 (20年間)

- ・ 県の負債並びに共同管理者の費用の縮減効果

■業務改善効果

- ・ 経営改善及び人材育成による工業用水道事業の継続的運営
- ・ 地域資源の活用による地元経済の持続的発展
- ・ 最適なリスク管理による安定した事業運営

導入後の具体的な効果

■業務面

県における料金収納や支払い等の経理処理時間が縮減

八代工水で漏水発生した事案→試掘調査を迅速に行うといった機動力を発揮

■ユーザー企業へのサービス面

料金徴収事務において、支払方法に口座振替方式を導入

突発的事象発生時に迅速な現地確認や水質などの積極的な情報提供

事業を運営している中での課題

■経営面

コスト削減効果は、主に施設更新において、長寿命化を図ることによるもので、収益的収支には後年度、減価償却費の減という形で表れてくる見込み

一方で、運営権者がユーザー企業から収受する工業用水料金には、20年間の更新投資にかかる資金が分割して含まれている（先取り）ことなどから、令和3年度決算は、令和2年度決算より収支が悪化する結果